【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2005-266559(P2005-266559A)
【公開日】平成17年9月29日(2005.9.29)
【年通号数】公開・登録公報2005-038
【出願番号】特願2004-81363(P2004-81363)
【国際特許分類】
　Ｇ０３Ｇ　15/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｇ　15/16

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月23日(2007.2.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
　このような作像過程において、本実施の形態における中間転写ベルト２０は、ヤング率を３～５ＭＰａとしたことで、転写時の中間転写ベルト２０に加わる圧力が均一に分散され、像抜けやブラーを一層低減できるようになる。
　また、特に中間転写ベルト２０の裏面に裏面被覆層５３を設けることで、ベルト基材５１が外気に直接触れることもなく、画像形成装置内で発生するオゾン等の影響を軽減できる。更に、中間転写ベルト２０からのブリードを防ぐことが可能になる。